

# 中学校長会会長賞

堺市立 南八下中学校 二年

磯崎 心紀

## 心の余裕

私は、社会を明るくするには他人に対して温かく接することが大切だと思います。そして、無理せずに自然に温かく接するためには心の余裕が必要です。心の余裕が必要だと私が考える理由は二つあります。

一つ目は、どんなことでも感謝の思いを持つことができるからです。例えば、路上に放置されている自転車は通行の妨げになり、とても迷惑です。余裕がなくて素通りしているだけでは変化はないかもれません。しかし、注意して通っていると定期的に撤去に来てくれる人たちがいることに気付くはずで、その人たちがいなければ、道に自転車があふれ、通行の妨げになるどころか完全に通れなくなるかもしれません。だから、撤去に来てくれる人たちに心の中でも感謝を伝えられると心が温かくなります。このように、周りへ目を配ると大切なことに気付く、感謝ができるようになります。さらに、その思いを相手に伝えると、自分も相手も嬉しい気持ちになり、その後も穏やかな気分で過ごすことができます。身近な具体例を挙げると公共トイレです。そこは一日に

何人も利用するので、丁寧な掃除が必要です。数時間に一度は清掃業者の方が、掃除をされています。トイレを利用するとき、たまに清掃時間と重なることがあります。そうなったとき、私の母は必ず清掃されている方に「ありがとうございます。」と声をかけてから外に出ます。そんな母を、私はずっとカッコいいと思っていました。しかし、私は初対面の人に声をかけるのが苦手なので、頭を下げるだけでした。でも、あるとき勇気を出して感謝を伝えてみると、清掃されている方はこちらを見て優しく微笑んでくれました。私はとても嬉しくなってほっとした気持ちになりました。それからはいつも感謝の気持ちを言うようにしています。日常の些細なことに目を向けると、常に感謝の念を抱いて人と接する、温かい人になることができると思います。

二つ目は人の新たな一面を発見できるからです。落ち着いて周りを見てみると、自分の周りにはたくさんの方がいます。その一人ひとりに良いところ、少し苦手なところ、共感できる感覚、共感しにくい感覚とたくさんありますが、どれもその人の個性です。

ここで焦って拒否してしまうと、自分の中のその人に対する思いはそこで止まってしまいます。しかし、少しずつ受け入れて会話を重ねていくと、前には気づかなかった新たな一面が発見できます。落ち着いてその人と関われば、より仲良くなることができ、自分自身の日常もより豊かになると思います。

感謝の気持ちを持つと心が穏やかになり、周りを見渡すとたくさんさんの素敵なこと、知らなかったことであふれているはずです。

このことは犯罪・非行をした人の立ち直りでも同じだと思います。確かに、その人の犯した罪はどのようなものであれ、これから先、決して変わることはありません。しかし、罪を犯した人たちは自分の罪と向き合い、それを償って社会へ戻ってきました。受け入れる側の私たちに求められることは、その人たちのことを「前科者」として接するのではなく、「一人の人間」として接することだと思います。なぜなら、せっかく社会に復帰できても、周りの人が冷たい態度であったり、ひどい言葉を浴びせかけたりしたら、また犯罪を犯したり、最悪の場合だと自死してしまうかもしれないからです。そうならないためにも、私たちは誰にでも、どんな人にも温かく、親身になって接することが大切だと思うのです。悩みがあるなら少しだけでも聞く、困っているようなら手伝うなど、できることはたくさんあります。もう二度と犯罪をさせないような、そして、犯罪をしないといけないような状況にならない

社会をつくっていききたいと思います。

このように、心の余裕を持つことで、温かく接することができ、暮らしやすい社会になると思います。そのためには、自分のことだけでなく、周りの人のことも考えて行動することが大切です。この世の中が、誰もが快適に過ごせる明るい社会になることを、心から願っています。

